

回復期リハビリテーション病棟

当院は回復期リハビリテーション病棟を有し、セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が専門的かつ質の高いリハビリテーションを提供、入院早期からリハビリに取り組むことで、早期在宅復帰を目指します。また、セラピストだけではなく、医師・看護師・医療相談員・管理栄養士などが協力し、24時間365日サポートしております。

最先端の機器を用いたケア

● **HAL® (Hybrid Assistive Limb®) 医療用下肢タイプ／単関節HAL/腰HAL**
 HAL® (Hybrid Assistive Limb®) は脳から出る「動かす」という指令を体に装着した機械が生体電位信号として読み取り、自分では動かせない手足の動きを補助し、正確な動きを学習していくことで、機能回復を促進します。
 医療用下肢タイプと腰タイプは、一連の動作で複数の部位をサポートできるメリットがあります。今まで人が徒手に行っていた治療ではアプローチできなかったことも、ロボットは補完することができ、さらなる機能回復を促すことができます。



医療用下肢タイプ

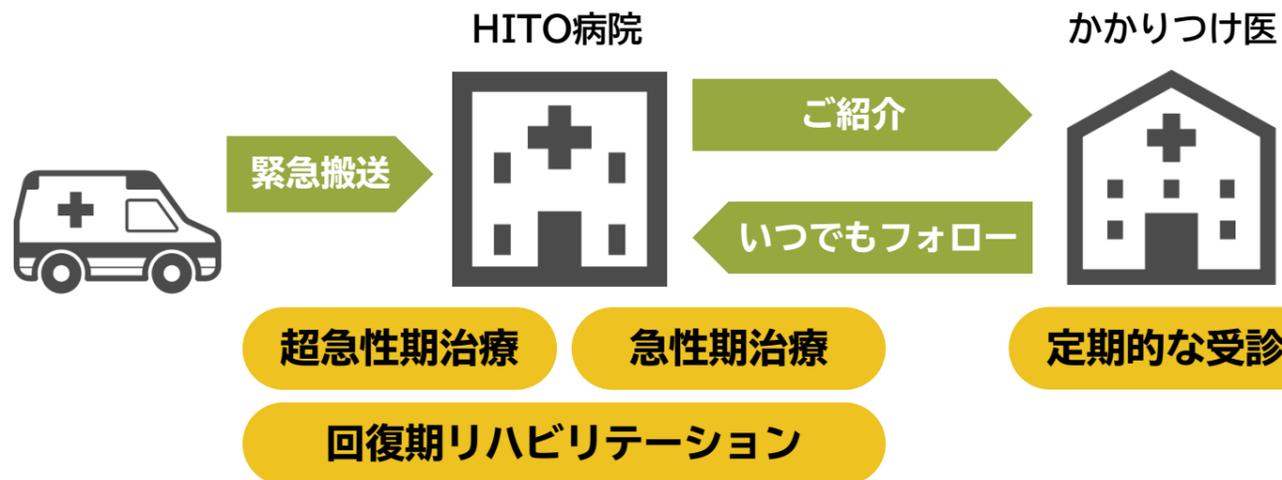


単関節HAL



腰HAL

退院後のフォローアップ



超急性期～回復期までの切れ目ないリハビリテーションを実施後はかかりつけ医へご紹介させていただきます。ただし、紹介先の先生よりご依頼があればいつでもフォローさせていただきます。



整形外科

～診療から手術・在宅復帰までサポート～

人工股関節置換術 (THA)

人工膝関節置換術 (TKA)

脊椎手術

再生医療 (APS・PRP療法)

同種骨移植

脊椎専門医師のご紹介



【専門分野】
脊椎外科

【専門医】

医学博士、日本整形外科学会 整形外科専門医
 日本脊椎脊髄病学会 脊椎専門医・指導医
 日本リハビリテーション学会 リハビリテーション専門医・指導医

【所属学会】

日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会、日本側彎症学会
 日本リハビリテーション学会 など

【ひとこと】

2023年4月にHITO病院へ赴任いたしました。愛媛大学医学部附属病院脊椎センター長を務めた経験を活かし、宇摩圏域の脊椎疾患の対応の強化に努めてまいります。

整形外科部長(脊椎部門)
森野 忠夫 医師

整形外科外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
整形外科外来	石丸	伊藤	伊藤	-	石丸	-
専門外来	間島※第一 (骨粗鬆症)	森野(脊椎)	間島(関節)	森野(脊椎)	-	-

予約について

月～金 8:30～17:00
 第1-3土曜日 8:30～12:00

地域医療介護連携課
 お問い合わせ電話番号

0896-29-5704

脊椎専門外来

●脊椎専門外来

当院整形外科脊椎部門では、脊椎・脊髄に関連した疾患の診断、治療を行っています。

脊椎は、体を支える支柱であるとともに、脳と四肢末梢神経（運動神経や感覚神経）を結ぶ脊髄神経の通り道でもあります。脊椎・脊髄に異常が起こると、頸部痛・腰痛・手や足のしびれ、上肢痛、坐骨神経痛（片側の臀部から下肢にかけての痛み）が出現したり、ひどくなると足や手が動きにくい、動かないなどの麻痺症状や、尿や便が出にくくなる膀胱直腸障害が出現することもあります。



具体的な疾患として、主に老化が原因の退行性疾患である腰部脊柱管狭窄症、頸髄症、腰椎椎間板ヘルニアなどがあり、他には、外傷や転倒による脊椎の脱臼や骨折があります。治療は、投薬や注射、装具やリハビリテーションなどの保存治療がまず行われますが、場合によっては手術治療が必要になることもあります。

適切な治療を行うためには、正確な診断に基づいた治療戦略が必要です。保存治療の限界の見極めや、適切な手術方法の選択が大切であり、それらのタイミングを逸すると必要もないのに手術を行ったり、逆に手遅れで後遺症が残りやすくなったりします。当院では、18年間(2023年4月時点)脊椎疾患の治療を行ってきた脊椎・整形外科・リハビリテーションの専門医が診断治療を行いますので、経験に基づいた適切なタイミングでの保存治療と手術治療を提供することができます。

また、愛媛大学医学部附属病院脊椎センターとも連携をとっており、難易度の高い手術が必要な患者は紹介して治療を行ってもらい、当院に転院し、リハビリテーションや術後経過観察を行うこともできます。

再生医療(APS療法・PRP療法)

保険適用外

●APS療法・PRP療法

当院には関節専門外来があり、変形性関節症を中心に関節の損傷・変性に対して専門の医師による診察・治療を行っています。薬物療法、関節内注射、運動療法、装具療法などに加え、2020年度より手術適応前段階の患者さんに再生医療（APS療法およびPRP療法）をお勧めしております。



人工関節置換術、同種骨移植

●人工関節置換術（THA・TKAほか）

当院の人工関節センターでは、股関節・膝関節の人工関節置換術を行っています。人工関節置換術は、他の治療方法に比べて原則、短期間で痛みをとる効果に優れた手術方法といえます。当院では「術前3次元手術計画システム」で十分な術前シミュレーションを行い、「術中ナビゲーションシステム」を用いてより正確な手術を行っています。



また、症例に応じて最小侵襲手術（MIS）を行い、筋肉や腱に与える侵襲を最小限にする工夫を行っています。そのため、術後の回復を早めたり、人工関節の耐用年数を伸ばしたりすることが期待されます。当院では2022年度はTHA 88件、TKA 24件実施いたしました。

当院では、2016年度より愛媛大学医学部附属病院の人工関節センターと連携しており、愛媛大学大学院医学系研究科 整形外科学 教授の高尾 正樹先生や地域医療再生学講座 教授の間島直彦先生が来院し、手術を行っています。しっかりとした連携体制のもと、難治症例や再置換症例にも対応することが可能です。

●同種骨移植

また、2021年度より、骨欠損などにより通常手術が難しい患者へ院内骨バンクによる同種骨移植の手術を実施し、治療範囲を拡大させ、個々の状態に合わせた治療をより多くの患者に提案できるよう努めております。

救急外来（外傷）

●救急外来（外傷）

2022年は病院全体で救急搬送2,233件と大幅に増加しました。2023年4月より新たに救急専門医（外傷専門医）が着任し、より救急治療体制の充実を図ります。救急科や他科との協力体制により全身管理を行うとともに、迅速に治療・リハビリテーションを開始し、早期の社会復帰を目指しています。

